

環境経営レポート目次

1. ご挨拶
 2. 会社概要
 - 2-1. 会社概要
 - 2-2. エコアクション対象範囲
 - 2-3. 経営理念・行動規範・品質方針
 3. 環境経営方針
 4. EA21推進組織
 5. 環境経営目標
 - 5-1. 環境経営目標及び中期計画
 - 5-2. 2020年度単年度計画
 6. 2020年度達成状況
 - 6-1. 環境経営目標達成状況
 - 6-2. 結果と評価
 - 6-3. 総量実績推移
 7. マテリアルバランス
 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟の有無
 - 8-1. 法令遵守状況
 - 8-2. 違反・訴訟の有無
 - 8-3. 近隣よりの苦情の有無
 9. 2020年度の取組み
 - 9-1. ビニール系産廃の捨て方指導
 - 9-2. 非常事態処理訓練
 10. その他の取組み
 - 10-1. 地域の清掃活動
 11. マネジメントレビュー
 - 11-1. 経営者による全体評価
 - 11-2. 次年度に向けて(アクション)
- あとがき

1. ご挨拶

当社は2000年に品質マネジメントシステムISO9002を認証取得し、環境マネジメントシステムについては、2003年度に環境省が実施したエコアクション21試行版によるパイロット企業として参画して以来、認証取得して16年目を迎えました。現在は「品質活動と環境活動が重なり合った経営マネジメントシステム」として経営の有効なツールと認識し、生産活動を進めております。

2020年度環境経営レポート作成にあたって、一昨年からの課題であった“事業年度終了後遅滞なく環境経営レポートを発行する”ことと、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)と自らの環境経営との関連性を見いだすことで、自社の事業活動を時速可能な社会づくりとベクトル合わせができるように取り組みました。ここに2020年度の環境経営活動の結果をまとめ、報告いたします。

正 長 正 之

2. 会社概要

2-1 会社概要

1964年10月1日、東海道新幹線が開通した記念すべき日に産声を上げた仁張工作所は 2019年10月1日に創業55年の節目を迎えました。創業以来、弊社は主としてスチールやステンレスの薄鋼板を加工して各種保管庫、キャビネット、デスクなどを設計・製作するほか、幅広い用途を持つ箱物板金製品・各種精密板金製品を提供してきました。

現在では多業種・多業界における一次サプライヤーとしての板金加工部品供給を筆頭にOEM製品やオーダーメイド、オリジナル製品など多様な製品を提供し続けています。ご興味のある方は下記HPもご覧ください。 URL <https://nimbari.co.jp/>

※2020年12月21日より、代表取締役が仁張正之から仁張茂へ変更になりました。



2. 会社概要

2-2 エコアクション対象範囲

事業所名 株式会社仁張工作所

URL <https://nimbari.co.jp/>

エコアクション21の対象範囲と所在地(2021年2月現在)

- | | | |
|-------------|-----------|-------------------|
| ◎ 本社工場 | 〒578-0921 | 大阪府東大阪市水走3丁目14番6号 |
| ◎ 仕上棟・仕上第二棟 | 〒578-0921 | 大阪府東大阪市水走3丁目8番26号 |
| ◎ 東大阪第二工場 | 〒578-0921 | 大阪府東大阪市水走3丁目6番10号 |

環境経営活動担当者の連絡先

環境管理責任者 仁張 茂 事務局 総務経理部

連絡先 Tel : 072 - 962 - 2831 Fax : 072 - 963 - 4183

E-mail s.nimbari@nimbari.co.jp

事業活動（認証・登録範囲）

精密板金加工製品、別注スチール製家具・什器、箱物板金加工製品の製造
（「環境経営レポート2020」についての問合せは事務局までご連絡ください）

2. 会社概要

2-3 経営理念・行動規範・品質方針

経営理念

1. 私たちは板金加工を通じて、ものづくり、仕事づくり、ひとづくりに
努力します
2. 私たちはお客様の満足を通じて仕事に誇りを持ち
よりよい生活を実現し働きがいのある会社づくりに努力します
3. 私たちは常に新しい板金加工技術について積極的に学び自分たちのものとし
共有化することによって技術レベルの高い信頼される会社を目指します

行動規範

1. 規律正しく行動し、仕事に対して誠実になろう
2. 決められた事を守り、妥協しないプロ集団になろう
3. 社員は仲間 相手の考えを受け止め、自分の考えを入れこみ“私たち”の考えをつくろう

品質方針

「品質に責任を持ち、顧客の信頼に応える」

3. 環境経営方針



私たち株式会社仁張工作所は 経営理念に基づき 板金加工製品のモノづくり事業を遂行するにあたり 環境影響をとらえ 社員の育成と成長を通じて 自然資源を維持する ‘地球にやさしい’ 取組みを展開します

環境経営方針

1. 現在及び将来の事業活動において 環境経営目標を定め 技術的 経済的に可能な範囲で継続的改善に努めます
2. 品質を良くすることは環境につながることを理解し 生産性向上によるエネルギーや資源の有効活用と共に 環境負荷の軽減に努めます
3. 適用される環境関連法規及び 当社が個別に同意した要求事項を遵守します
4. 環境経営方針を全社員に周知すると共に教育・啓蒙活動を通じて全社員に環境に関する意識の向上を図ります
また 当社の取引先・外部委託業者にも環境経営方針の理解と努力を求めます
5. 環境経営に対する取り組みは 地域社会や行政 社員などに情報を開示して 良好なコミュニケーションを維持します
6. これらを推進するため環境マネジメントシステム(EMS)を構築して 維持します

2020年12月21日 代表取締役 仁張茂

4. EA21推進組織



5. 環境経営目標

5-1 環境経営目標及び中期目標



原単位は生産高100万円あたり

※2021年度以降の目標は次年度で設定します

番号	最終目標項目 (2016年度をベンチマーク)	2016年度実績	2018年度 目標		2019年度 目標		2020年度目標	
E-1	CO ₂ 削減	551kg-CO ₂	534kg-CO ₂		523kg-CO ₂		507kg-CO ₂	
E-2	産業廃棄物削減	33,446kg	32,443kg		32,443kg		32,443kg	
	紙のリサイクル推進	12.0kg	11.6kg		11.4kg		11.4kg	
	新紙購入量削減	250枚	243枚		243枚		243枚	
E-3	水使用量の削減	塗装 : 0.5m ³ 社内製造 : 1.8m ³	塗装 0.47m ³	社内製造 1.7m ³	塗装 0.47m ³	社内製造 1.7m ³	塗装 0.46m ³	社内製造 1.6m ³
E-4	シナーの購入量削減	7.5ℓ	7.3ℓ		7.1ℓ		6.9ℓ	
	化学物質使用量の把握	100%	100%対応		100%対応		100%対応	
	塗料不良率削減	2.0%	1.8%以下		1.7%以下		1.6%以下	
	粉体塗料比率向上	24.7%	26%以上		26%以上		28%以上	
E-5	環境負荷の削減 顧客からのネットワーク上での 調査依頼に対して100%対応する	100%対応	100%対応		100%対応		100%対応	

※電力のCO₂換算係数 0.493kg- Co₂ /kWh

5. 環境経営目標

5-2 2020年度単年度計画



原単位は生産高100万円あたり

E-1. CO₂の削減

取組み内容	目標値	実行部署
1.作業と設備の効率化で社内生産での電力削減	原単位-8% 707kWh	全部課
2.品質不具合を削減し手直しや再製作のロスを防止する	クレーム件数60件以下 場内不具合100件以下	
3.塗装の作業改善、品質改善で社内生産でのLPG削減	LPG原単位-8% 12.0m ³	
4.クールビズ・ウォームビズを実施し冷暖房用燃料の削減	都市ガス原単位-8% 3.2m ³ 灯油原単位-8% 1.8ℓ	
5.物流の効率化で車燃料削減	車燃料原単位-8% 7.1 ℓ	

E-2. リサイクルを含む産業廃棄物の削減

取組み内容	目標値	実行部署
1.塗装の品質及び生産改善により引火性廃油及び汚泥の排出削減	排出量原単位-5% 8.3 kg	塗装G
2.一般廃棄物の削減	排出量-3% 32,443kg	全部課
3.ネッキング及び品質不具合削減により金属スクラップ ^o 排出量削減(アルミ缶を除く)	排出量原単位-5% 223kg	
4.工程移動の改善及び下記新紙対策により紙リサイクル排出量の削減 (段ボール、包装紙、用紙など)	排出量原単位-5% 11.4kg	
5.紙購入の削減 文書及び記録の紙配布を廃止し、社内LANを活用することで紙使用量を削減する。併せて可能な限り裏紙を使用する。	A4換算購入量-3% 原単位243枚	

5. 環境経営目標

5-2 2020年度単年度計画(続き)



E-3. 総排水量の削減

原単位は生産高100万円あたり

取組み内容	目標値	実行部署
1. 塗装G水使用量の削減 塗装前処理水抜きなどの工程で塗装水使用量を削減する。	塗装水使用量原単位-8% 0.46m ³	塗装G
2. 給水設備点検を行い、水漏れを防止して一般水使用量維持。	社内製造原単位1.6m ³	全部署

E-4. 化学物質使用量の削減

取組み内容	目標値	実行部署
1. 化学物質使用量の把握(把握するのはPRTR制度対象物質)	未把握物質:0件 毎月使用量把握100%	総務
2. シナ-購入量の削減 前処理ラインの利用でシナ-拭きを減らす。	購入量原単位-8% 6.9ℓ	塗装G
3. 塗装の不具合要因を分析し、不良を削減	塗料不良率 1.6%以下	
4. 粉体塗装適用製品を広げVOCを削減する。	粉体塗料比率 28%以上	塗装G/技術

E-5. 環境負荷の削減

取組み内容	目標値	実行部署
1. 環境に配慮した製品設計・部材調達 RoHS, REACH対応等顧客要求に応える。	100%対応	技術課
2. 有害化学物質含有量の少ない部材調達ならびに供給者ネットワーク確立 顧客からのネットワーク上での調査依頼に対して、100%対応する。	100%対応	総務

6. 2020年度達成状況

6-1 環境経営目標達成状況



原単位は生産高100万円あたり

番号	計画項目	目標値	監視項目	個別目標値	実績	差異	評価
E-1	1.作業と設備の効率化で 社内生産での電力削減	社内製造原単位 (2016年度 551kg-CO ₂ -8%)	電力kWh (kg-CO ₂)	707kWh (348.5)	955kWh (470.6)	(+122.1)	×
	2.塗装の作業改善品質改善で社内生産でのLPG削減		LPGm ³ (kg-CO ₂)	12.0m ³ (82.3)	13.4m ³ (91.9)	(+9.6)	×
	3.ケルビズ・ウォームズを実施し冷暖房用燃料の削減		都市ガスm ³ (kg-CO ₂) 灯油ℓ(kg-CO ₂)	3.2m ³ (12.3) 1.8ℓ(4.5)	6.1m ³ (23.4) 1.1ℓ(2.7)	(+11.1) (-1.8)	×
	4.物流の効率化で車燃料削減		ガソリンℓ(kg-CO ₂) 軽油(kg-CO ₂)	2.8ℓ(6.5) 4.3ℓ(11.3)	2.4ℓ(5.6) 5.6ℓ(14.7)	(-0.9) (+3.4)	▲
			合計原単位 (kg-CO ₂)	(465.4)	(608.9)	(+143.5)	×
E-2	1.塗装の品質及び生産性改善により引火性廃油及び汚泥の排出削減	引火性廃油排出量 社内製造原単位 (2016年度 8.7kg -5%)	原単位(kg)	8.3kg	11.3kg	+3.0	▲
	2.ネッキング及び品質不具合削減により金属スクラップ排出量の削減(アルミ缶を除く)	金属スクラップ排出量 社内製造原単位(2016年度 235kg -5%)	原単位(kg)	223kg	276kg	+52.0	×
	3.工程移動の改善及び下記新紙対策により紙リサイクル排出量の削減(段ボール、包装紙、用紙など)	紙リサイクル排出量 社内製造原単位(2016年度 12.0kg -5%)	原単位(Kg)	11.4kg	13.7kg	+2.3	▲
	4.文書及び記録の紙配布を廃止し社内LANを活用することで紙使用量を削減する。	新紙購入量削減 A4換算購入量 社内製造原単位 (2016年度 250.2枚 -3%)	原単位(枚)	243枚	372枚	+129	×

6 . 2020年度達成状況

6-1 環境経営目標達成状況(続き)



原単位は生産高100万円あたり

番号	計画項目	目標値	監視項目	個別目標値	実績	差異	評価
E-3	1.塗装G水使用量の削減 塗装前処理水抜きなどの工夫で、 塗装水使用量を削減する	塗装G水使用量 社内製造 原単位(2016年度 0.5m ³ -8%)	原単位(m ³)	0.46m ³	0.6m ³	+0.14m ³	▲
	2.給水設備点検を行い、水漏れを防止して 一般水使用量維持	一般水使用量 社内製造原単位 (2016年度 1.6m ³ -8%)	原単位(m ³)	1.6m ³	3.0m ³	+1.4m ³	▲
E-4	1.化学物質使用量の把握 (把握するのはPRTR制度対象物質)	未把握物質0件 毎月使用把握100%	0件 100%	0件 100%	0件 100%	0	😊
	2.シナー購入量削減 前処理ラインの利用でシナー拭きを減らす	シナー購入量 社内製造原単位 (2016年 7.5ℓ -8%)	原単位 (kg)	6.9ℓ	8.6ℓ	+1.7ℓ	▲
	3.塗装不具合要因を分析し、不良を削減	塗装不良率 1.6%以下	不良率(%)	1.6%以下	1.3%	-0.3	😊
	4.粉体塗装適用製品を広げVOCを削減する	粉体塗料比率 28%以上	使用率(%)	28%以上	21.4%	-6.6	✖
E-5	1.環境に配慮した製品設計・部材調達 RoHS,REACH対応等顧客要求に応える	顧客対応100%	100%	100%	100%	0	😊
	2.有害化学物質含有量の少ない部材調達なら びに供給者ネットワーク確立 顧客からのネット ワーク上での調査依頼に対して100%対応する	調査依頼100%	100%	100%	100%	0	😊

6. 2020年度達成状況

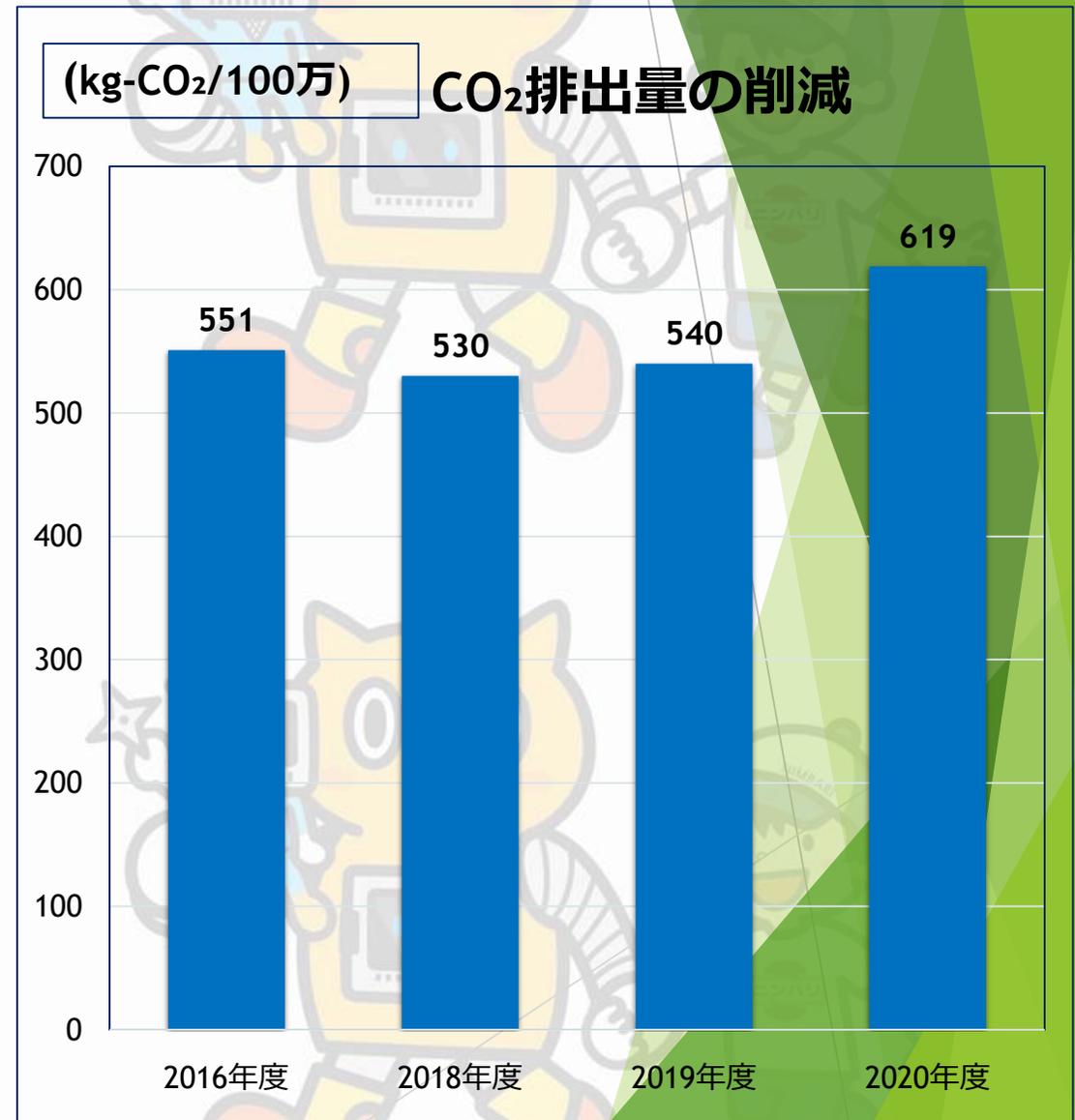
6-2 結果と評価

E1. 【CO₂排出量の削減】

CO₂排出量総量、直近3ヶ年の推移は右の通りです
 原単位目標値 507 に対して 619 と目標値をクリア
 することができませんでした

三和工場閉鎖による設備の移設、生産拠点数の増加
 に伴う職場環境の整備等により、排出量の増加とな
 りました。

次年度は、本社生産設備の入替により消費電力の減
 少が見込め、電気使用量の削減につながると思いま
 す。



6. 2020年度達成状況

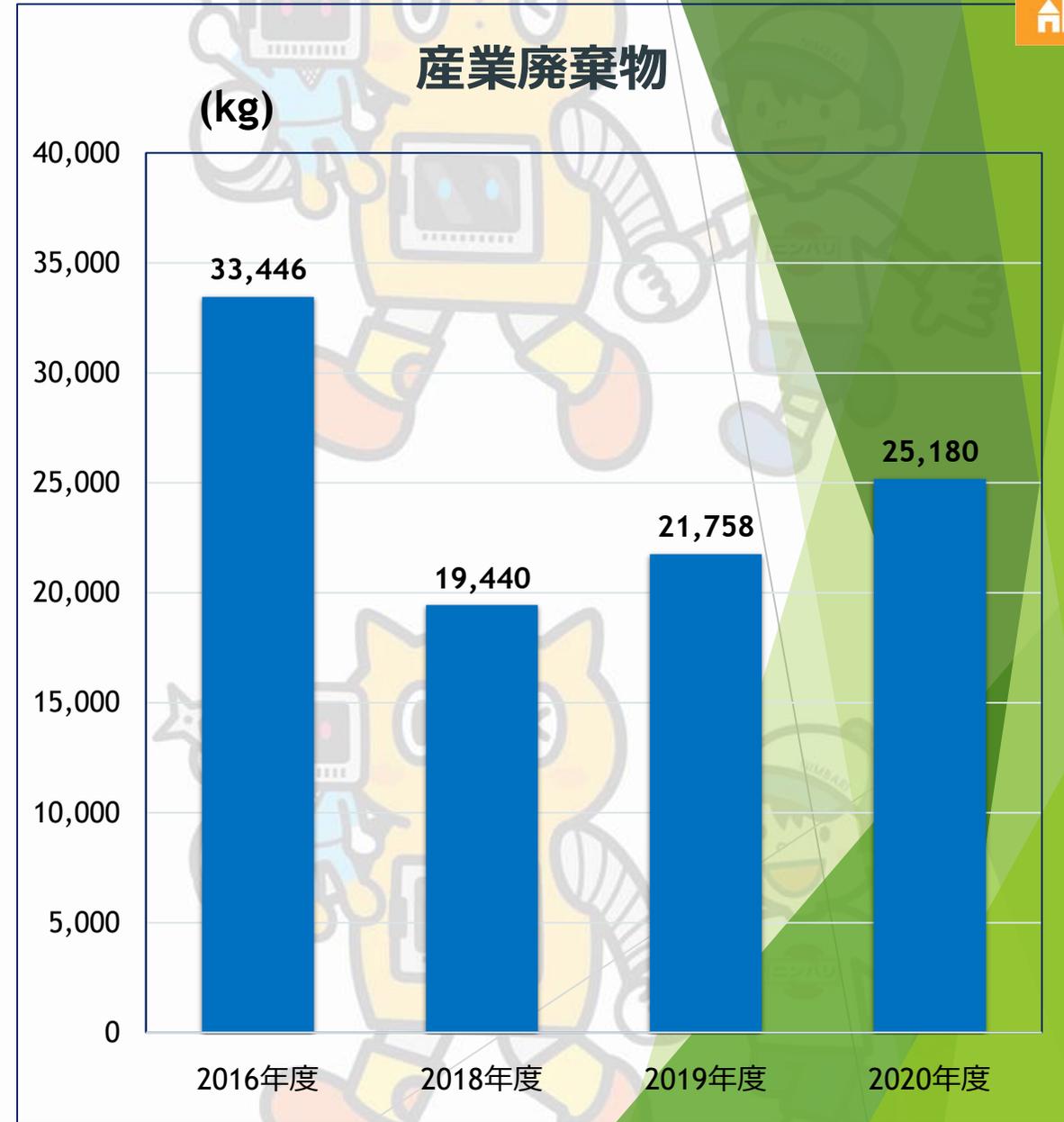
6-2 結果と評価（続き）

E2-1. 産業廃棄物削減

産業廃棄物の総量、直近3ヶ年の推移は右の通りです

廃プラスチック・ビニル系ゴミが、一般事業ゴミから産業廃棄物に移行されてきていることや、旧本社売却時、三和工場閉鎖時の廃棄物により総量が増加しました。

次年度も、社員の意識を改革し分別を意識づけることで、ビニール系廃棄物の削減に取り組めます



6. 2020年度達成状況

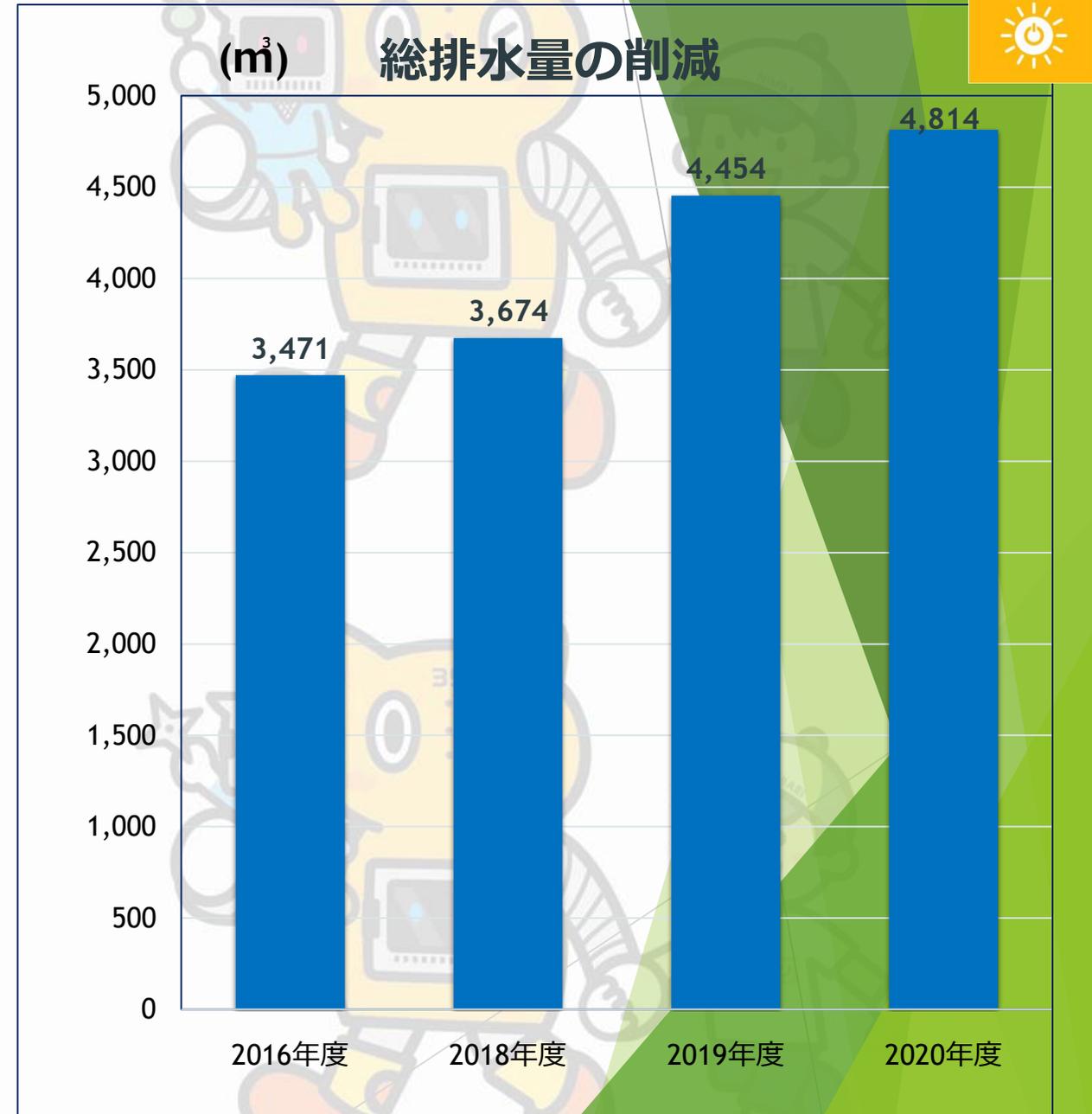
6-2 結果と評価（続き）

E3. 総排水量（水使用量）の削減

水使用量、直近3ヶ年の推移は右の通りです

生産拠点数の増加に伴う職場環境の整備、新型コロナウイルス対策によるうがい・手洗い励行、また、三和工場漏水の発見が遅れたことが使用量増加に影響しています。

次年度は使用量の推移を見守りながら、ムダやロス削減に取り組めます。



6. 2020年度達成状況

6-2 結果と評価 (続き)

E4-3. 塗装不良率の削減

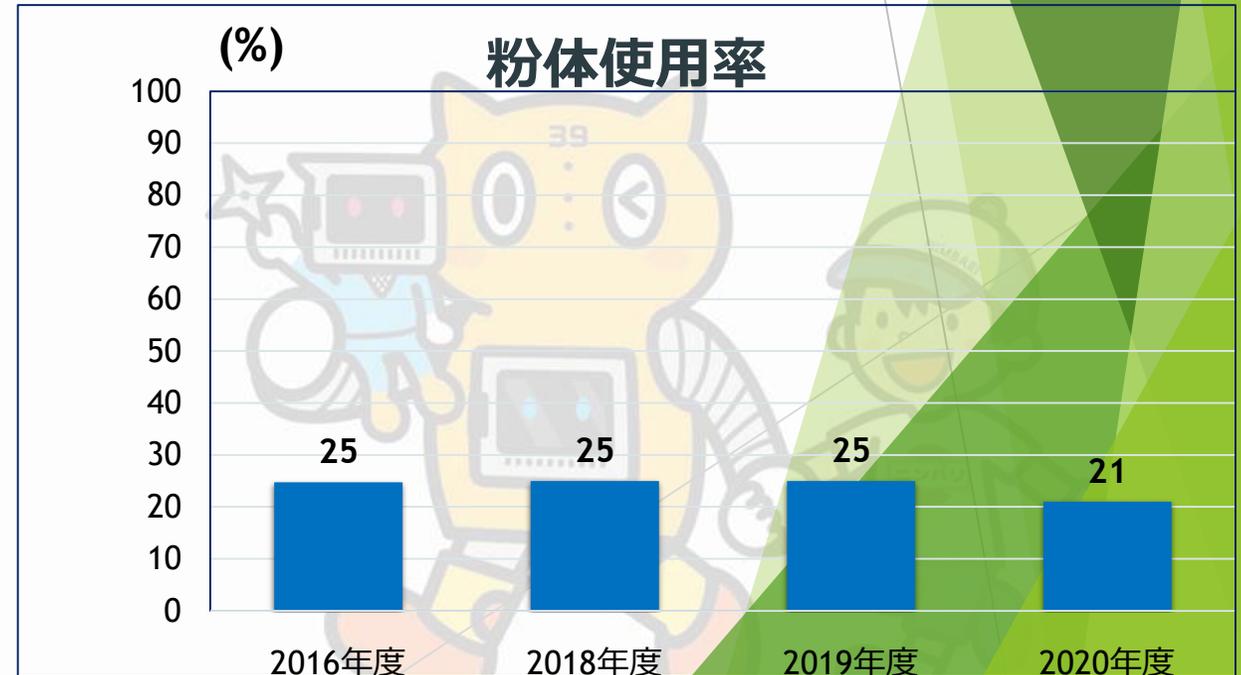
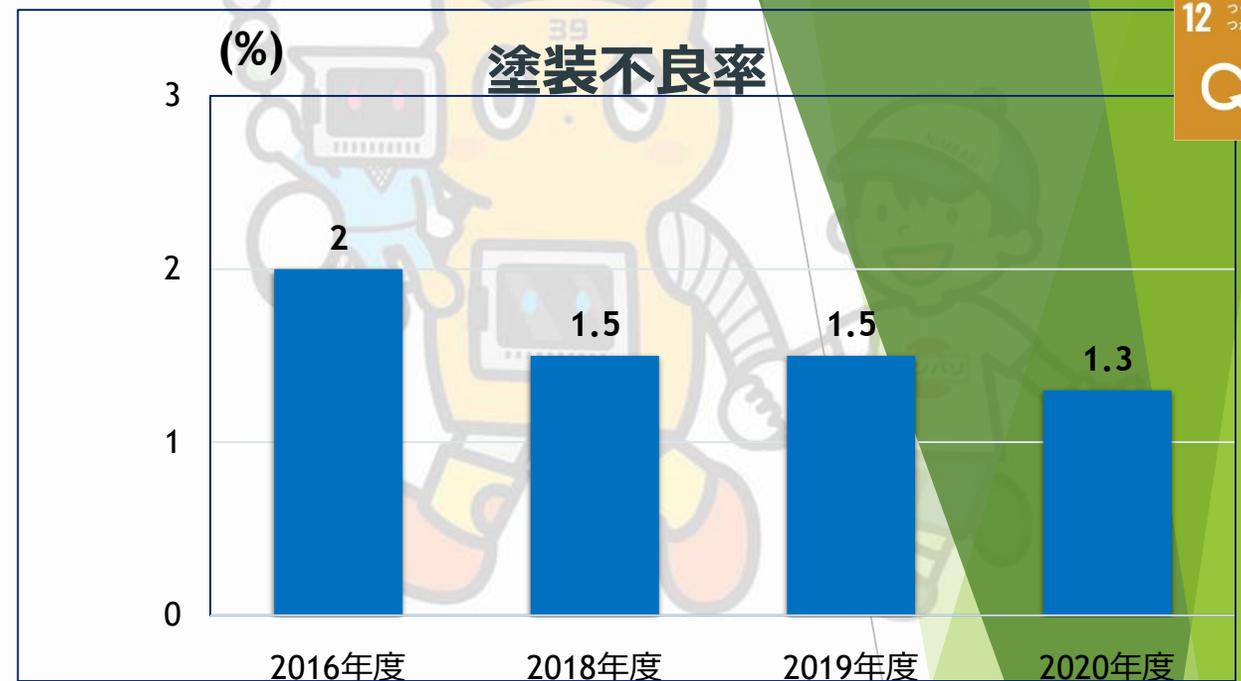
塗装不良率の削減、直近3ヶ年の推移は以下の通りです

次年度も社員のスキル向上と社員同士のコミュニケーションUPで削減に取り組みます。

E4-4. 粉体塗料(塗装)比率の変化

社内塗装Gの粉体塗料比率について、直近3ヶ年の推移は右の通りです

次年度も粉体塗装への移行提案商品がないか検討します。



6. 2020年度達成状況

6-3 総量実績推移

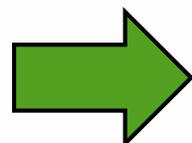


		2016年 ベンチマーク	2017年	2018年	2019年	2020年
売上高(百万円)		2,029.5	2,203.7	2,129.0	2,145.0	1,696.4
CO ₂ 排出量	電気(kWh)	1,498,364	1,759,963	1,758,916	1,803,028	1,619,355
	LPG(m ³)	26,030	27,826	24,905	26,628	22,795
	都市ガス(m ³)	6,449	6,788	6,336	8,841	10,333
	灯油(ℓ)	4,168	6,356	4,082	3,142	1,939
	ガソリン(ℓ)	6,030	5,072	4,420	4,748	4,130
	軽油(ℓ)	9,199	10,643	10,519	11,517	9,496
	総量 CO ₂ 換算 (kg-CO ₂)	1,117,646	1,172,148	1,128,796	1,157,228	1,049,732
	原単位 CO ₂ 換算 (kg-CO ₂ /100万)	550.7	531.9	530.2	539.5	618.8
産業廃棄物排出量(kg)		33,446	13,460	19,440	2,1758.4	25,180
水使用量(m ³)		3,471	3,739	3,674	4,454	4,814
新紙購入枚数 (A4換算：枚)		509,400	622,750	664,750	702,250	632,250
塗装不良率 (%)		2.0	1.8	1.5	1.5	1.3

7. マテリアルバランス

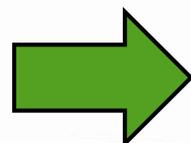
インプット

エネルギー	
・ 電力	1,619,355 kWh
・ LPG	22,795 m ³
・ 都市ガス	10,333 m ³
・ ガソリン	4,130 l
・ 軽油	9,496 l
・ 灯油	1,939 l
金属材料	
・ 鉄板	2,315,000 kg
・ ステンレス板	143,000 kg
・ アルミ板	7,600 kg
化学物質	
・ 溶剤塗料	19,864 kg
・ 粉体塗料	5,415 kg
・ シンナー	14,608 l
紙 (A4換算)	632,250 枚
水	
・ 上水道	4,814 m ³



事業活動

営業
設計・開発
工程計画
資材調達
製造
物流
出荷



アウトプット

二酸化炭素排出量	1,049,732 kg-CO ₂
リサイクル	
・ スクラップ(鉄)	419,370 kg
・ スクラップ(ステンレス)	29,242 kg
・ スクラップ(アルミ)	1,579 kg
・ 段ボール、用紙類	23,272 kg
・ 引火性廃油・汚泥	19,200 kg
廃棄物排出	
産業廃棄物は、塗装汚泥・廃プラ・混合等の合計	
・ 産業廃棄物	7,970 kg
・ 木くず	17,210 kg
・ 一般事業ゴミ	
水	
・ 排水	4,814 m ³

8. 環境関連法規等の法令遵守の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

8-1 法令遵守状況



適応法令(条例)	該当する項目	遵守状況
廃棄物処理法	特別産業廃棄物管理責任者設置 産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出	適合
大阪府流入車規制条例	トラック	適合
フロン排出抑制法	廃棄時の適正処理 簡易点検 定期点検	適合
下水道法	水質測定	適合
悪臭防止法	トルエン及びキシレンの使用	適合
騒音規制法 振動規制法	ターレットパンチプレス、プレスブレーキ、レーザー 複合機、シャーリングマシン、エアーコンプレッサー、 窒素発生装置、クーリングタワー	適合
PRTR法	塗料溶剤	適合

※2020年11月内部監査にて遵守状況確認済

8. 環境関連法規等の法令遵守の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟の有無

8-2 違法・訴訟の有無

違法・訴訟はありませんでした

8-3 近隣からの苦情の有無

近隣からの苦情はありませんでした

9. 2020年度の取組み

9-2 非常事態処理訓練(12月1日)

塗装ブースの循環水流出を想定して、緊急事態処理手順書に基づき
応急処置訓練を実施しました



10. その他の取組み

10-1 地域の清掃活動(6月3日)



環境月間の活動として、
毎年恩智川沿いの道の清掃活動
を行っています

11. マネジメントレビュー

11-1 経営者による全体評価

2020年度は売上1,698百万(前年比79.2%)、経常利益▲29百万とコロナ禍の影響で減収減益となりました。事業年度期間(2019年12月21日-2020年12月20日)において、かねてより計画していた三和工場(京都府福知山市)の閉鎖や、仕上第2棟建設を中心とした本社工場周辺の生産と倉庫拠点の再構築による整理と新設を実施したことに加え、4月頃より顕著となったコロナ感染予防対応に伴う受注量減少の影響により、2018年に策定した「環境経営目標推進計画(2018-2020中期計画)」3年目目標値とは大きくずれてしまいました。

前年比で売上金額が約20%減少したことにより、エネルギー・燃料使用量の絶対値は減少しましたが、売上100万円あたりの原単位に換算すると増加してしまいました。新しい建物や作業場のサイトが増えたことが要因です。水についてはコロナ感染予防手洗い励行や三和工場漏水の発見遅れなどにより総量が増加しました。また、三和工場の閉鎖と旧本社売却によりスクラップや産業廃棄物の処分量が増加しました。産業廃棄物に関してはプラスチック系事業ゴミの処分方法が厳格化され、通常の事業ゴミとプラスチック・ビニル系廃棄物の分別化が進みました。

2020年12月エコアクション21更新審査の結果は適合評価でした。総合コメントでは経営と環境を一体的に取り組んでいること、工場閉鎖や設備移設に伴う廃止、変更届処理について、ストレッチフィルム使用量削減の取り組みなど評価されましたが、一方で環境経営レポートのタイムリーな情報公開が必要な点、SDGsとの関連性記載の勧めなどアドバイスいただきました。

(参考) QMS/EMS定期マネジメントレビュー(2020.11.24)、エコアクション21更新審査(2020.12.2-3)、2020年度決算報告書

11. マネジメントレビュー

11-2 次年度に向けて(アクション)

2020年度は、翌事業年度から社長交代(事業承継)する大きな計画のもとスタートしました。加えてコロナ感染症が全世界に広がり日本経済も大きく落ちこみました。当社にとっても大変厳しい結果となりましたが、次年度に向けた対策も進めてきました。その取組みの一つとして、2020年度環境経営レポートを3月に発行することが出来ました。そして、2020年に目途をつけた、生産拠点を本社工場周辺に集約したことと主要設備更新の成果を翌年以降の環境負荷の低減と作業効率向上につなぐことができます。

本年度の取組みを通じての気づきを次年度に申し送ります。

- ・昨年度環境経営レポートをタイムリーに情報公開することで、今年度の環境経営活動に積極的に活用し、改善の機会を増やしていきましょう。
- ・環境経営目標の設定について、設備の変更や生産量の変動など削減目標の設定が難しい場合があります。毎年、前年度を基準として総量及び原単位の2本立てで削減目標を決定した方がよいとのアドバイスが外部審査でありました。
- ・社長交代は、環境経営の考え方を見直すチャンスでもあります(どれくらいのレベルを目指すかにより変更することも維持することもできます)。

以上

あしがき

2020年度環境経営レポートを最後までお読みいただきありがとうございます。
今回のレポートは予定通りに発行できました。

また、EA21審査で頂いたアドバイスやSDGs講座に参加させて頂き、
実は知らず知らずのうちにSDGsに取り組んでいたことに気づきました。
レポートに載せるロゴも、他社の取組み等を参考に、色々な考え方や捉え方で
載せる事が出来たと思います。
今後は社内にもSDGsの取組みをアピールしていきたいと思います。

2020年12月21日付で代表取締役社長交代がありました！！
弊社にとって大変大きな変化点です。
環境に対する経営方針は変わりませんが、2021年からは新社長による新しい
観点での活動にも取り組んで行きたいと思います。

環境事務局 仁張正之・坂本知加恵
仁張 茂(環境管理責任者)
初版発行 2021.3.31